



令和8年2月27日
(一財) 3.11 伝承ロード推進機構

「3.11 伝承ロード」・「写真で見る復興の歩み」パネル展の開催について

テーマ：「教訓が、いのちを救う。」

東日本大震災から間もなく15年を迎えます。山形県では、東日本大震災追悼・復興祈念事業（山形会場）実行委員会により、「東日本大震災追悼・復興祈念事業（山形会場）」を別添チラシのとおり実施します。

(一財) 3.11 伝承ロード推進機構も、実行委員会構成員として、東日本大震災の記憶や経験を忘れずに後世に伝承するため、東日本大震災の実情と教訓等をパネルにより紹介します。

また、被災地の被災前、被災直後、復興10年の状況についても写真パネルにより紹介します。

※「3.11 伝承ロード」とは、東日本大震災の教訓を、震災伝承施設のネットワークを活用して、防災に関する様々な取組や事業を行う活動です。その活動によって、防災に関する知識や意識を向上させるとともに、地域間の交流を促し、災害に強い社会の形成と地域の活性化に繋げるものです。

- 期間 令和8年3月6日（金）～令和8年3月13日（金）
- 時間 9:00～16:30（3月6日(金)は13:00から、3月11日(水)は19:00まで、3月13日(金)は13:00までになります。）
- 場所 山形県郷土館「文翔館」3F ギャラリー2
〒990-0047 山形県山形市旅籠町3-4-51 電話 023-635-5500
- 内容
(1) パネル展
 - ・教訓伝承の取組（(一財) 3.11 伝承ロード推進機構、協力：東北地方整備局）
 - ・東日本大震災の対応など（協力：東北地方整備局）
 - ・被災前・被災直後・復興10年の航空写真（陸前高田市、気仙沼市、いわき市等）
（協力：(一社) 東北地域づくり協会）
- 主催等 東日本大震災追悼・復興祈念事業（山形会場）実行委員会
パネル展主催：(一財) 3.11 伝承ロード推進機構（実行委員会構成員）

《発表記者会 山形県政記者クラブ、東北電力記者会、東北建設専門記者会》

問 合 せ 先

一般財団法人 3.11 伝承ロード推進機構

宮城県仙台市青葉区本町三丁目2-26

事業部長 遠藤 明 TEL 022-393-4261

展示パネルの例

教訓が、いのちを救う。

備えることで救える“いのち”があることを知ってもらう！

学ぶことで助かる“いのち”があることを知ってもらう！

一般財団法人 3.11 伝承ロード 推進機構

3.11 伝承ロードとは

「3.11」災害の一手し、東日本大震災の教訓を学ぶため、震災伝承施設のネットワークを構築して、防災に関する様々な施設の小規模な展示を行う。

震災伝承施設とは、震災の発生や被害を学ぶための遺構や展示施設が数多くあります。その施設を「震災伝承施設ネットワーク」に加盟し、震災伝承施設として登録し、マップ上で検索できるようにネットワーク化を図ります。その施設ネットワークを通じて、市民に震災の歴史や教訓を伝えるための展示や体験型展示の提供や、防災に関する展示の提供を行います。また、市民の活動を通じて、防災に関する展示や体験型展示の提供や、防災に関する展示の提供を行います。

一般財団法人 3.11 伝承ロード 推進機構

「くしの歯作戦」、決行。

一刻も早く。

命の道を切り開く、一刻を争う戦いへ。

「くしの歯作戦」とは、内陸部を南北に貫く東北自動車道と国道4号から、「くしの歯」のように沿岸部に伸びる何本もの国道を、救命・救援ルート確保に向けて切り開く作戦のこと。想像を超える巨大津波は、太平洋沿岸の各地に壊滅的な被害をもたらし、がれきや橋の流出で沿岸部の各地を孤立させた。地震発生直後、国土交通省 東北地方整備局の災害対策室には、幹部や職員が昼夜をこなし、道路関係事務所や出張所と連絡を取り、被害確認と対策立案を急いだ。そして、直ちに、命の道確保に向けてルートを開き「くしの歯作戦」を決行した。

第1ステップ
内陸部を貫く東北自動車道・国道4号の縦線ラインを確保

第2ステップ
東北自動車道・国道4号から沿岸部に伸びる縦線ラインを確保
3月10日 - 11日 - 12日
3月10日 - 11日 - 12日

第3ステップ
3月10日、国道4号・6号の87%が復旧完了
沿岸部を結ぶ命の道が繋がった

福島県 相馬市相馬港 被災前・被災後・10年後

Fukushima Prefecture Soma Bay, Soma City Before, Soon After, and Ten Years After the Tsunami.

被災前 2011年2月撮影 Before the 3.11 Disaster February 2011

被災後 2011年6月撮影 Soon After the 3.11 Disaster June 2011

10年後 2020年10月29日撮影 Ten Years After the 3.11 Disaster October 29, 2020

参加無料

キャンドル点灯後の
撮影OK!

3.11

キャンドルナイト

「追悼・復興への祈り」

2026. 3. 11 (水)

17:00~19:00

■会場:文翔館 前広場

17:00 開場

◆メッセージゼロハン作成

17:30 追悼・復興祈念セレモニー

◆復興へのメッセージ

◆キャンドル点灯式、黙とう

◆「追悼・復興への祈り」演奏



(山形交響楽団 トロンボーン四重奏)

19:00 クロージング

天候等により、内容を縮小または中止とする場合があります。詳しくは山形県ホームページをご覧ください。



3月11日は「県民防災デー(防災点検の日)」

同時

開催

◆文翔館前広場
・防災アプリ利用体験
・非常食の試食
・防災グッズ紹介コーナー

◆文翔館ギャラリー3
・VRゴーグルによる
災害の疑似体験

ギャラリー展示

- ◆期間：令和8年3月6日(金)～13日(金) 9:00～16:30
- ◆場所：文翔館 3階ギャラリー ※6日 13:00～16:30
11日 9:00～19:00
13日 9:00～13:00



(展示例)

3.11伝承ロード推進機構 パネル展

東日本大震災の実情と教訓等、被災地の被災前・被災直後・復興への歩みをパネルにより紹介します。

日本赤十字社山形県支部の活動

東日本大震災及び県内の大雨災害における救護活動をパネルにより紹介します。

※展示は3月9日(月) 13:00から

浪江町請戸「安波祭」写真展

山形市在住の写真家・渡辺和哉氏が捉えた、津波と原発事故で被災した地区の震災の20日前の写真と、その後の祭りの記録の数々を展示します。

避難者支援活動等展示コーナー

県内の避難者支援活動や被災県の復興状況の紹介、復興へのメッセージボードを設置。皆さまからの復興への想いをお寄せください。

セロハンにメッセージを書いてみませんか

書いたものはガラスシェードに貼り付け、キャンドルナイトで使用します。

- ◆期間：令和8年3月6日(金)～11(水) 9:00～16:30 (※6日は13:00から)
- ◆場所：文翔館 3階ギャラリー 1 ※11日は前広場受付テント内で17:00から作成できます。

制作協力：キャンドルリンクネットワーク



関連企画展示

山形県立図書館(遊学館内) 企画展示 「3.11を忘れない」



- ◆期間：令和8年3月3日(火)～4月28日(火) 9:00～20:00 (第1.3.5月曜日及び第3日曜日は休館)
- ※展示期間については変更される場合があります。

同時開催 「県民防災デー」体験企画

- ◆期間：令和8年3月11日(水) 16:30～19:00
- 3月11日は「県民防災デー(防災点検の日)」。今できる「備え」を確認してみませんか？



◆文翔館前広場

- ・防災アプリ利用体験
- ・非常食の試食
- ・防災グッズ紹介コーナー

◆文翔館ギャラリー3

- ・VRゴーグルによる災害の疑似体験

会場 山形県郷土館 文翔館 (山形市旅籠町三丁目4-51)

- ◆J R 山形駅から市役所経由路線バスで市役所前下車、徒歩 1分
- ◆J R 山形東口からベコちゃんバス乗車、市役所南口下車、徒歩 5分 中心市街地エリア内での乗降は100円 (小学生は半額、未就学児は無料)



東日本大震災追悼・復興祈念事業(山形会場)実行委員会 構成団体名

つながろう！ささえあおう！復興支援プロジェクトやまがた、ハチドリ一滴の会、認定特定非営利活動法人やまがた育児サークルランド、特定非営利活動法人やまがた絆の架け橋ネットワーク、特定非営利活動法人山形の公益活動を応援する会・アミル、特定非営利活動法人Yamagata 1、社会福祉法人山形県社会福祉協議会、社会福祉法人山形市社会福祉協議会、日本労働組合総連合会山形県連合会、山形県民主医療機関連合会、日本赤十字社山形県支部、一般財団法人3.11伝承ロード推進機構、山形市、新庄市、上山市、村山市、天童市、東根市、山辺町、中山町、河北町、西川町、朝日町、大江町、山形大学学生有志、東北文教大学ボランティア部、東北文教大学山形城北高校JRC部、山形県

